

CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会 第15回通常総会報告	1
● 新任役員紹介	2
● 令和8年度役員名簿・組織	3
● 令和8年度事業計画 委員会活動(案)	4～5
● Audio Developer Conference Japan 2026参加レポート	6～7
● AMEI会員名簿・令和8年度MIDI検定告知	8

一般社団法人
音楽電子事業協会

第15回 通常総会報告



令和8年5月22日、一般社団法人音楽電子事業協会第15回通常総会が午後4時00分から東京飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにて開催されました。総会に先立ち、阿部征治会長より、「世界情勢や経済環境が不透明な状況が続く中でも、Windows向けのMIDI2.0のUSBドライバがマイクロソフト社から提供開始という成果もあり、具体的な形で社会に実装されつつある段階に来ております。今後もMIDI普及に向けた取り組みを継続して参ります。」との挨拶がありました。続いて、事務局から定足数（正会員22社に対し、委任状を含む出席19名）が発表され、総会の成立が報告されました。定款に基づき阿部会長が議長となり、議事録署名人として古山俊一様、岡野真吾様の2名が選任され、議案審議に移りました。

「令和7年度事業報告の件」として、理事会、幹事会、運営委員会並びに各専門委員会・部会の活動概要が報告されました。第1号議案「令和7年度収支決算承認並びに監査報告の件」につき事務局からの報告並びに古山俊一監事からの監査報告があり、承認。第2号議案「令和8年度事業計画(案)審議承認の件」では、各委員会の活動予定が説明され承認されました。続いて第3号議案「令和8年度収支予算(案)審議承認の件」が承認。第4号議案「令和8年度役員選任の件」では、今総会にて現理事、監事及び幹事の2年間の任期が満了となり、今年度も原則として前任の理事・監事が留任し、一部新任とする役員案が事務局より提案され、再任理事6名、再任監事2名と新任理事として小林拓人様、鳥居克彦様、下山恒一の3名が承認されました。以上すべての議案が審議・承認されました。最後に議長より議事進行についての協力を謝し、第15回通常総会は終了しました。その後、総会にて承認された理事による臨時理事会が別室にて開催され、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任、及び幹事構成員の選任、顧問の選任が承認されました。

続いて午後5時30分から「通常総会懇親会」が開催され、阿部会長の挨拶の後、ご来賓の文化庁著作権課著作物流通推進室室長八田聡様、経済産業省商務・サービスグループ文化創造産業課課長補佐腰田将也様からのご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会常務理事増田裕一様の乾杯のご発声により、賑やかに懇親会が始まりました。会はその後も、本総会で常務理事を退任された水谷靖様からのご挨拶を間に挟んで、和やかな談笑が続けられ、小澤二穂副会長による中締めの後、午後8時過ぎに無事終了いたしました。

新任役員紹介

新任常務理事 小林 拓人 株式会社エクシング コンテンツ統括本部 副本部長

AMEI 会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 8 年 5 月 22 日開催の第 15 回通常総会におきましてご承認を頂き、新たに理事に就任することになりましたので、謹んでご挨拶をさせていただきます。

私と電子音楽の関わりですが、中学生のころ父親と一緒に秋葉原に足を運んで購入した PC-8801mk II、次の日新聞には「PC-8801mk II SR 発売」と大きく広告が掲載されておりました。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、SR はグラフィックや処理速度の大幅な性能向上とともに、FM 音源が搭載されておりました。後日量販店の店頭で聞いた音源のデモでは BEEP 音との違いに驚愕し、慌てて mk II 用のサウンドボードを購入することになったのはいい思い出です。

そんな私が新卒として入社した会社では、丁度立ち上げたばかりの通信カラオケの部門に配属されることになりました。まさかあの時の電子音楽が自身の生業に大きく影響することになりました。その後 2006 年にエクシングへ入社し、現在はカラオケビジネスにかかわるコンテンツ全般の企画調整や、カラオケデータを制作の取りまとめを行っております。通信カラオケの配信技術の根幹である MIDI 規格やインターネット音楽配信ルールを通じて、AMEI の活動とは密に接してまいりましたが、この度の理事就任に際し、改めて身の引き締まる思いでございます。

昨今は音楽業界・カラオケ業界・音楽配信業界を取り巻く環境やインターネット通信環境および著作権ルールが大きく変化を見せるなか、その責任の重さを痛感しております。今後は業界全体の発展に全力を尽くし、皆様のご期待にお応えできるよう一層精進してまいります所存です。

甚だ未熟ではございますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



小林 拓人 常務理事

新任理事 鳥居 克彦 株式会社河合楽器製作所 電子楽器事業部長

この度、5 月 22 日の第 15 回通常総会にてご承認いただき、理事を務めさせていただくことになりました。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

私は株式会社河合楽器製作所において、長年にわたり電子ピアノの商品企画に携わってまいりました。市場やお客様の声に耳を傾けながら、新しい技術を実際の商品価値へと結び付け、より多くの方に楽器を演奏する喜びをお届けすることを目指して、企画・開発に取り組んできました。その後は電子楽器事業全体の管理を担当しました。これまでの業務を通じて、優れた商品やサービスは、一つの部門や一社だけで生み出されるものではなく、多様な知見を持つ方々の連携と、将来を見据えた地道な取り組みによって育まれることを学んできました。

電子音楽の業界は今、デジタル技術やネットワーク技術をはじめとする急速な進化を背景に、これまでにない新たな価値と需要を生み出す製品・サービスが誕生し、人々の音楽の楽しみ方や暮らしそのものを変革している最中にあると感じています。一方で、技術の進歩を真に豊かな音楽体験へとつなげ、より幅広い世代や地域へ届けていくためには、企業の枠を越えた情報交換や協力、共通課題への取り組みがますます重要になるものと考えております。

そのような中、音楽電子事業と関連産業の健全な振興を目指し、調査研究、情報提供、規格立案・標準化など、幅広い活動を推進する AMEI に参加させていただき、その一端を担えることは、大変光栄なことでございます。これまでの経験を生かしつつ、会員企業の皆様と率直に意見を交わし、業界全体の発展と、音楽電子技術を通じた新たな文化・市場の創造に微力ながら貢献してまいりたいと存じます。

理事としては不慣れな身ではございますが、協会活動への理解を深めながら務めてまいります所存です。会員の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



鳥居 克彦 理事

新任専務理事 下山 恒一 一般社団法人音楽電子事業協会 事務局長

AMEI 会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、5 月より専務理事を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

AMEI では MIDI 規格委員会、著作権・ソフト委員会、製品安全環境委員会、普及委員会など、それぞれの分野での委員会活動が行われています。MIDI 規格、著作権、製品安全・環境、MIDI 検定といった幅広い取り組みは、会員企業様の事業環境を健全に発展させていく上で欠かせない取り組みであると考えております。これまで各委員会で積み重ねられてきた活動の歴史を大切にしながら、各委員・部会員相互の連携を一層深め、AMEI 全体としての発展に引き続き取り組んで参りたいと考えております。

MIDI は 1982 年の策定以来、電子楽器、通信カラオケ機器をはじめとするさまざまな機器や音楽制作環境をつなぐ共通規格として、音楽産業の発展とともに歩んできました。また、昨年度には、MUSIC AWARDS JAPAN 2025 にて「ミュージックテック功労賞」を受賞いたしました。あらためて諸先輩方が築いてこられた歴史に、深く敬意を表する次第です。現在、コンピューターやネットワーク、AI など、音楽を取り巻く技術や環境がさらに大きく変化しています。こうした時代だからこそ、異なる機器や技術をつなぎ、人々の創造性を支える MIDI の役割は、これからさらに広がっていくものと展望しています。

会員企業の皆さまの声を反映させ、変化する時代のニーズを的確に捉えながら、課題の解決と新たな可能性を広げていくことができればと考えております。

微力ながら、会長をはじめ、役員、会員、そして委員・部会員の皆さまが手を取り合える環境作りに尽力し、当会の活動を着実に前進させてまいりたいと存じます。今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



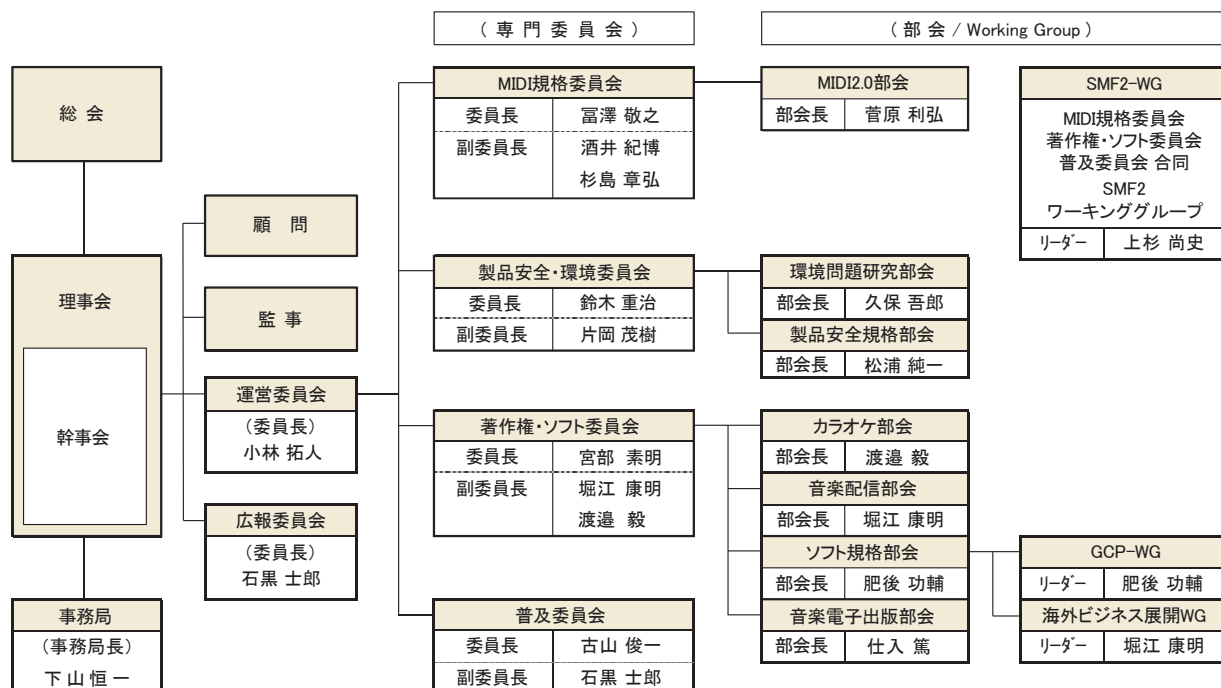
下山 恒一 専務理事

令和8年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会 幹事会役職	氏名	会社名	役職
会 長	阿部 征治	ヤマハ株式会社	執行役員 楽器事業本部 電子楽器事業部長
副 会 長	小澤 二穂	株式会社第一興商	エンターテインメント事業本部 制作管理部長
◇	志水 貴光	ローランド株式会社	執行役員 技術開発本部長
専務理事	下山 恒一	一般社団法人音楽電子事業協会	事務局長
常務理事	小林 拓人	株式会社エクシング	コンテンツ統括本部 副本部長
◇	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
理 事	大石 耕史	株式会社コルグ	取締役
◇	岡野 真吾	カシオ計算機株式会社	サウンド・クリエーション事業部 設計開発統轄部 開発部 部長
◇	鳥居 克彦	株式会社河合楽器製作所	電子楽器事業部長
幹 事	石垣 敦子	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	ミュージックメディア部 部長
◇	中村 維利	学校法人 尚美学園	法人本部長 兼尚美学園大学 事務局長
◇	成田 賢哉	株式会社鈴木楽器製作所	執行役員 開発本部長
◇	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
◇	古山 俊一	尚美学園大学	名誉教授
顧 問	佐々木 隆一		

※ 敬称略・50 音順（常勤役員は専務理事のみ、他の役員は非常勤です。）

令和8年度 組織図 一般社団法人音楽電子事業協会



* 敬称略順不同

一般社団法人音楽電子事業協会 令和8年度 事業計画 委員会活動(案)

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

1 製品安全・環境委員会

活動方針

製品安全規格・環境問題研究両部会での情報交換と、各法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせのための活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器製品の安全性確保と環境問題への対応推進を図る。

事業計画

「製品安全規格部会」：4月16日、7月16日、10月15日、
1月14日
原則第2木曜日開催を予定。東京又は
浜松＋リモート開催
「環境問題研究部会」：4月14日、7月14日、10月13日、
1月12日
原則第2火曜日開催を予定。東京又は
浜松＋リモート開催

活動テーマ

「製品安全規格部会」
年4回部会を開催し、各国の安全規格・EMC規制・無線規制等の情報交換を行う。

下記外部団体に参加して情報収集を行い、部会において各社に展開する。

- JEITA マルチメディア EMC 専門委員会
 - JBMIA 第108委員会
 - 電気用品調査委員会の電波雑音部会
 - 電気製品認証協議会
- ※電気用品安全法の要望の窓口となる参加団体については引き続き調査する。

「環境問題研究部会」

- (1) 化学物質規制・管理法関連の動向調査及び情報交換
 - EU RoHS、EU REACH
 - CN RoHS、台湾 RoHS
 - US TSCA、Proposition65
 - 各国化学物質管理・規制法
- (2) 省エネルギー法・規制の動向調査及び情報交換
 - EU エコデザイン規制
 - 各国待機電力規制
- (3) 廃棄物・リサイクル法関連の動向
 - WEEE・各国容器包装法
- (4) その他の動向
 - 違法伐採・木材管理法関連 (CITES 含む)
 - PFAS・難燃剤・POPs 規制の動向
 - サプライチェーンにおける情報伝達 (chemSHERPA、CMP など)

2 MIDI 規格委員会

活動方針

- 音楽や電子楽器に関する技術検討、規格審議を行い、将来の音楽事業発展に貢献

活動計画

- MIDI 規格委員会開催
 - 月次開催。議題に応じてオンラインまたはオンサイト開催
- MIDI 2.0 部会
 - 規格委員会内で MIDI 2.0 規格等の協議、審議
 - 状況により、適宜、臨時部会を開催
- イベント共催および参加
 - ADC Japan 2026 への参加
 - MIDI MEETUP 2026 主催
 - 東京楽器博 2026 MIDI 2.0 セミナー主催
 - NAMM 2027 参加、MIDI Association 主催のセミナー参加

事業計画

- MIDI 2.0 市場発展及び推進活動
 - MIDI Association と共同で MIDI 2.0 市場展開の施策を検討
 - AMEI/MIDI Association 間で、共有リソース利用の Joint IP Policy 策定、契約
 - 普及委員会と協力し、MIDI 2.0 製品のユーザー体験を創出する活動を検討
 - 楽器関連イベントでの MIDI 2.0 セミナー実施
 - AMEI MIDI 2.0 関連ホームページの拡充
- MIDI 2.0 部会
 - Windows MIDI 2.0 に関する各種サポート
 - MIDI Association と連携し、MIDI 2.0 関連規格の標準化
 - MIDI Association と協力し、MIDI 2.0 の DAW 連携における課題解決
 - 規格仕様検証のためのプロトタイプ実装
- SMF2-WG と連携し、関連規格を標準化

SMF2-WG

MA によるコンテナファイルフォーマット規格の進行に合わせ、適宜ミーティングを再開。SMF2ファイルフォーマットの検証等を進める。

3 著作権・ソフト委員会

活動方針

1. 会員各社の事業運営における著作権に係る問題点等を解決すべく、関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望申し入れ等を活発に行う。また、著作権法の改正を含む様々な環境変化の中で生じる不具合については、積極的に関係省庁、権利者、管理事業者等に問題提起を行う。
2. 定例会を通じ各部会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

活動計画

委員会定例会 10 回（8 月、1 月を除く毎月第二木曜日）、音楽配信部会 15 回程度（管理事業者との協議や関連団体との意見交換含む）、ソフト規格部会 5 回程度（GCP-WG、海外ビジネス展開 WG 含む）、カラオケ部会 5 回程度、音楽電子出版部会 12 回程度

事業計画

【音楽配信部会】

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を著作権・ソフト委員会定例会の場にて実施すると共に、ネットワーク音楽著作権連絡協議会（以下 NMRC）を通じ管理事業者との協議・関連団体との意見交換に反映させる。
2. NMRC 実務 WG を通じて、実務上の問題点解決にむけ、管理事業者、関連団体との意見交換を実施する。
3. 音楽配信部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
4. コンテンツビジネスや著作権についての意見交換を積極的に行う。
5. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う

【ソフト規格部会】

（GCP-WG）

- 現在、楽器内蔵コンテンツの保護に関連する特段の問題等も発生しておらず、定例会の開催を見合わせている。議題が提起された場合に、メンバーに随時ご参集いただく形で進める。

（海外ビジネス展開 WG）

- 米 MLC の MIDI ファイル音楽著作権許諾に関する米 MA へのレター作成・送付。

【カラオケ部会】

1. 一般社団法人日本音楽著作権協会（以下 JASRAC）との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」に関する継続協議。
 - 他の管理事業者が管理する楽曲の利用割合の反映に関する実務運用
 - 非管理楽曲が使用されている実態を勘案した利用割合に関する協議
 - その他、使用料規程の取扱いに関する協議
2. 株式会社 NexTone との使用料規程に関する継続協議。
3. 各著作権等管理事業者との一般社団法人著作権情報集中処理機構を活用した実務運用の検討

【音楽電子出版部会】

1. 使用料率および管理規定に関する諸課題について継続的に議論を行うとともに、音楽配信・電子出版を取り巻くサービス市場の動向調査を実施する部会としての位置付けで中長期的視点に諸課題の解決に向けた検討を推進する。

4 普及委員会

活動方針

MIDI 規格の正しい理解と普及を目的として、教育（MIDI 検定の実施継続）・普及（MIDI 規格委員会・会員各社との連携によるイベント等の実施）について、各委員会と連携し、計画提案を行う。

事業計画

■ MIDI 検定事業

「委員会」

2026 年度活動スケジュールの確認と活動体制の確認

【2026 年度 MIDI 検定試験】 オンライン試験+団体会場試験

「第 18 回 MIDI 検定 1 級試験」	2026 年 8 月実施
「第 29 回 MIDI 検定 3 級試験」	2026 年 12 月実施
「第 28 回 MIDI 検定 2 級 1 次試験」	2026 年 12 月実施
「第 28 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」	2027 年 2 月実施

【2026 年度指導者認定講座】 オンライン講座

「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」	2026 年 5 月に開催
「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」	2026 年 7 月に開催
「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」	2026 年 9 月に開催

■ イベント事業

MIDI 規格委員会・広報委員会等と連携して、MIDI の普及イベントの計画と立案を行う。

5 広報委員会

活動方針

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

活動計画

- 会報「AMEI News」編集会議 3 回
- セキュリティ強化対策の検討会議 1 回
- サステナビリティ強化対策の検討会議 1 回

事業計画

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
 - 年 3 回（5 月、9 月、1 月）ホームページへの PDF ファイルの掲載
2. ホームページの充実
3. セキュリティ、サステナビリティ強化対策の検討の実施
 - 個人情報保護対策の強化検討
 - クラウドサービスの可能性検討

Audio Developer Conference Japan 2026 参加レポート

MIDI 規格委員会 委員長 富澤 敬之

1 概要

2026年6月1日から3日間にわたり、Audio Developer Conference（以下 ADC）が日本では初めて秋葉原 UDX にて開催されました。（<https://audio.dev/adc-japan-26/>）ADC は、音に関するソフトウェア・技術開発者のための技術カンファレンスであり、ソフトウェア開発環境を提供する JUCE をはじめ、YAMAHA、Roland、KORG、Alpha Theta といったメーカー等がスポンサーとなり運営をしています。AMEI（MIDI 規格委員会）も、コミュニティ・パートナーとして、このイベントに参加し、展示ブースを出展、参加者との交流を図りました。

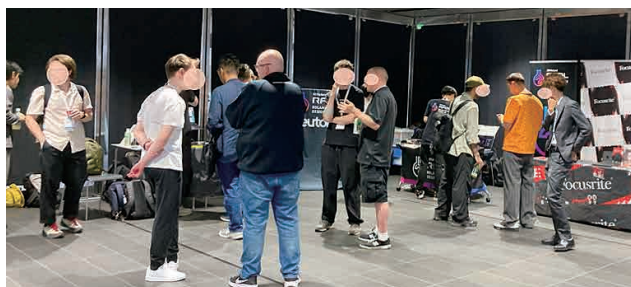
初日はワークショップおよびハッカソンを中心に実施され、2日目・3日目には各種講演が行われました。スポンサー企業によるブース出展は2階のアキバ・スクエアにて実施され、講演会場は5階に設けられていたため、来場者動線によるブース来訪者数への影響が懸念されましたが、結果として一定数の来訪者があり、安定した交流の機会が確保されました。

参加登録者数は275名であり、そのうち約16%が学生でした。主催者によると、来年は参加者400名規模への拡大と、スポンサー展示のさらなる充実を目標とされています。次回開催は2027年6月21日～23日に同会場で予定されています。



2 展示会場の様子

本イベントでは12団体の出展がありました。来場者は休憩時間等を中心にブースを訪れてるようでした。ブースフロアには軽食や飲料も用意されており、来場者と出展者が会話しやすい雰囲気が形成されていました。展示スペースには余裕があり、今後さらに出展数を増やせる余地があると感じられました。



AMEI のブースでは、MIDI 2.0 Protocol, Piano Profile, Property Exchange のデモ展示を行い、実際の動作を確認しながら説明することで、来訪者は納得してる様子でした。



また、MIDI 検定のコーナーも用意し、今回アップデートした「いちばん新しい MIDI のおはなし」冊子を来訪者に配布いたしました。



3 講演内容

初日を除くと、計 43 の講演が実施され、音声処理や音楽制作、信号処理などの分野におけるオーディオ技術について、ツールや実装方法、開発プロセスや事例などを紹介し、開発の実践的な内容が共有されました。最も広い講演会場である NEXT1 のセッションは YouTube にてライブ配信されました。

DAY2 : <https://www.youtube.com/live/JqbufmjUujU?t=18309s>

DAY3 : https://www.youtube.com/watch?v=9Mm1TIG0A_k

他の会場の講演についても、今後順次公開予定のようです。

MIDI Association からは Brett Porter 氏による MIDI 2.0 の概要および現状に関する講演が行われ、多くの来場者の関心を集めました。同講演の最後に AMEI ブースへの案内をしていただき、実際の来訪を促進しました。会場には英語、日本語、中国語に対応した同時通訳ディスプレイが設置されていましたが、翻訳タイミングは遅延が見られました。



4 参加者との対話・所見

会場では海外からの参加者も多く見受けられ、英語版ポスターなど、国際対応の重要性も感じられました。本イベントでは、ゲーム業界をはじめとした多様な開発者と対話し、MIDI 2.0 への期待や、現場で直面している技術的・運用的な問題点を直接聞くことにより、今後の取り組みの方向性を感じることができました。日本特有かもしれませんが、音声合成分野の開発者が想定以上に多く、新たなニーズの広がりを実感しました。

また、ブースを設置したことで、来場者同士の紹介によって新たな対話が生まれる場面も見られ、交流のハブとして機能しました。さらに、対話を通じて、特に個人開発者ほど標準規格の必要性を強く求めていることが印象に残りました。

5 総括

ADC Japan 2026 は、楽器業界にとどまらず、音響、ゲームなど幅広い分野の開発者と直接交流できる、非常に有意義なイベントでした。こうした対話を通じて、実務に基づく知見を得られたことに加え、開発者同士の新たなネットワークを構築できたことが大きな成果です。

今後は、業界全体の発展に向けた多面的な交流をさらに促進する意味も含め、間口を広げた MIDI 2.0 に関する勉強会の企画を考えていきます。



会員名簿

50音順 2026年9月1日現在

あ	株式会社シンクパワー	や
• AlphaTheta 株式会社	す	• ヤマハ株式会社
い	• 株式会社ズーム	• 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント
• 株式会社インターネット	• 株式会社鈴木楽器製作所	ホールディングス
え	た	ろ
• 株式会社エクシング	• 株式会社第一興商	• ローランド株式会社
か	て	〈正会員会社 22 社〉
• カシオ計算機株式会社	• ティアック株式会社	
• 株式会社河合楽器製作所	• 株式会社ティファブワークス	* 賛助会員
く	な	• 中音公司 (中華人民共和国)
• クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	• 株式会社 nana music	• 株式会社博秀工芸
• クリムゾンテクノロジー株式会社	に	• 株式会社ミュージックトレード社
こ	• 一般社団法人日本シンセサイザープロフェッショナルアーツ	• 株式会社リットーミュージック
• 株式会社コルグ		〈賛助会員会社 4 社〉
し	は	
• 株式会社シーミュージック	• バイオニア株式会社	
• 学校法人尚美学園		

令和8年度 「MIDI検定」

—ミュージッククリエイターのためのライセンス制度—

MIDI検定 試験	1級試験	2026年 8月7日(金)～8月17日(月)
	3級試験	2026年12月6日(日)
	2級1次(筆記)	”(日)
	2級2次試験	2027年2月13日(土)～2月15日(月)
指導者認定 講座	4級指導者認定講座	2026年5月31日(日)
	3級指導者認定講座	2026年7月26日(日)
	2級指導者認定講座	2026年9月27日(日)

AMEI NEWS Vol.89 / 2026.9.7
一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：下山 恒一
編集人：石黒 士郎(広報委員会)
編集協力：株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス：
<http://www.amei.or.jp/>

